

---

# 闇の歌姫

ナベリウス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

闇の歌姫

### 【Nコード】

N0085BA

### 【作者名】

ナベリウス

### 【あらすじ】

人より外見が少し変わっているからというだけで迫害を受けていた少女がひょんなことから異世界にきてしまつてそこで魔物の中でも1位、2位を表すほど強いとされているドラゴンと出会い保護される。

それから少女は人としてかけてしまった感情を取り戻していくお話です。

処女作ですので何か不快に思うことも多々あることと思いますがそこはご了承していただきたいと思います。

## 第1話

私はいつ頃からここにいるのだろうか？ 思いだせない。

「おい！ 見ろよ！ あそこにいるのバケモノじゃないか？」

「本当だ！ バケモノだ！ おいこっちくんはなよバケモノ！」

どうしてみんな私のことをバケモノっていうんだろう？ 私何もしてないのに。

「っ！」

1人の男の子が投げた石がちょうど私の頭に当たった。

「当たった当たった！」

男の子たちはそれを見て笑っている。私は感情のない目で男の子たちを見た。

「なんだよその目は！ バケモノのおまえがいけないんだろ?!」

そう男の子たちは私に言って去って行った。どうして？ 私何もしてない。しようとも思はない。なのにどうしてわかってくれないの？ どうして私を見てくれないの？ もういや!! みんな・・・みんななく・・・

っガバ!!

「ハアハアハア・・・ゆ・・・め・・・?」

夢なんて久しぶりに見た。いつもはそんな夢見ないのに。急にどうしてこんな夢見たんだろう？

気分が落ちてきた！ こういうときは歌うのに限る！

「~~~~」

30分、1時間くらい歌ったところで満足した私はまだ寝室にいることに気付いて慌てて寝室から出る扉まで向かってあげた。

だがそこに広がっていたのはいつも見ていた廊下ではなく森の中だった。

「は・・・？ いやいやいやありえないって！ だってここ普通に家だったでしょ？！ 何？！ なんで？！」

私はテンパっていて後ろに誰か（？）がいることに気づかないでいた。

「・・・誰だ？」

私は急にかかった声に驚いて後ろを振り向くとそこにいたのは今まで物語の中ででした見たこともない生物がいて目を見開いた。

## 第1話（後書き）

主人公は迫害を受けていましたが明るい性格の持ち主です。  
まあそこはお気になさらず！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0085ba/>

---

闇の歌姫

2011年12月31日03時50分発行